

| | | | | | |
|------|--------|------|-------|-----------|-----------|
| 単元名 | 学びのとびら | | | 教科書のページ | 上 p.2～7 |
| 配当時数 | 1 時間 | 活動時期 | 4 月中旬 | 学習指導要領の内容 | 第 2 学年の内容 |

| 時 | 目標 | 学習活動 |
|---|---|--|
| 1 | <p>・算数科の学び方，問題解決の方法やノートづくり方を共有したり，教科書の使い方を確認したりして，子どもたちが自ら教科書を有効に活用して，主体的，対話的で深い学びを実現できるようにする。</p> <p style="text-align: right;">上p.2～7</p> | <p>①「もくじ」(5分) 表紙裏～p.1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「前の学習」や「後の学習」が示されていることにふれ，算数の学習はこれまでの学習を基に積み重ねられていること，以後の学習へつながっていることに気づかせる。また，p.1 下欄を見て，前学年までに働かせ，成長してきた数学的な見方・考え方を想起させる。 ・表紙裏ページを見て，デジタルコンテンツが設定されていることやその使用方法，使用上の留意点にふれる。 <p>②「授業ページ」(30分) p.2～3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前学年までの学習で解決できる問題について，数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を実際に遂行することを通して，算数科における学び方や問題解決の方法を認識させる。 <p>③「算数マイノートをつくろう」(7分) p.4～5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業ページ」におけるノートの例を参考にしながら，ノートづくり方を学級で共有する。 <p>④「“新しい算数”を使った学習の進め方」(3分) p.6～7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の構成や記号の意味について調べたいときには，随時本ページを見るとよいことを伝える。 ・巻末にはオプション教材集「新しい算数 プラス」が設定されていること，その中の「ほじゅうのもんだい」(補充問題)，「ふりかえりコーナー」(知識の振り返り)，「おもしろもんだいにチャレンジ」(数学の世界での発展)があることを紹介し，適宜活用するとよいことを知らせる。 <p>※「指導者・保護者のみなさまへ」について これらの記述はいずれも教科書の編集意図に加え，子どもたちが学習習慣(特に家庭での自学自習)を身につけるためには家庭での理解・協力が不可欠であると考え，掲載したものである。保護者の方々とも連携を図りながら，教科書を有効に活用していただきたい。</p> |

| | | | | | |
|------|-------------------|------|----------|-----------|-------------------------------|
| 単元名 | 1. 九九を見なおそう [かけ算] | | | 教科書のページ | 上 p.8~25 |
| 配当時数 | 9 時間 | 活動時期 | 4 月中旬~下旬 | 学習指導要領の内容 | A(3)ア(イ)(ウ), イ(ア)内容の取扱い(3)(4) |

| | | |
|------------|---------------|--|
| 単元の目標 | | 乗法に関して成り立つ性質やきまりなどの理解を深め、数学的表現を適切に活用して九九の範囲を超える計算の仕方を考える力を養うとともに、乗法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の観点別評価規準 | 知識・技能 | 乗法に関して成り立つ性質やきまりを理解し、それらを活用して被乗数や乗数が0や10の乗法計算をすることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 乗法に関して成り立つ性質やきまりに着目し、九九の範囲を超える乗法の計算方法を、図や式などを用いて考え、表現している。 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 九九の範囲を超える乗法の計算方法について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|-----------|------|-------|-----------|--------|
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書のページ | 上 p.26 |
| 配当時数 | — | 活動時期 | 4 月下旬 | 学習指導要領の内容 | — |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|-------------------------|--------------------|------------------------------------|
| — | ・既習内容の理解を確認する。 上p.26 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | [知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】 |

| | | | | |
|------|--------------------------------------|------|-------------|-------------------|
| 単元名 | 2. 時こくと時間のもとめ方を考えよう [時こくと時間のもとめ方] | | 教科書の ページ | 上 p.27~33, 144 |
| 配当時数 | 4 時間 | 活動時期 | 4 月下旬 | 学習指導要 領の内容 |
| | | | | C(2)ア(ア)(イ), イ(ア) |

| | | |
|--------------------|-------------------|--|
| 単元の目標 | | 秒について知り，時間に関する理解を深めるとともに，数学的表現を適切に用いて時刻や時間の求め方を考える力を養い，それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 秒について知り，他の時間の単位との関係を理解するとともに，時刻や時間を求めることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 時間の単位に着目し，時間を既習の量と統合的にとらえるとともに，図などを用いて時刻や時間の求め方を考え，説明している。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 時刻や時間に関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|--------------------------------|------|--------------|---------------|--------------------------------|
| 単元名 | 3. 同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう [わり算] | | | 教科書の ページ | 上 p.34~46, 145 |
| 配当時数 | 9 時間 | 活動時期 | 5 月上旬~中 旬 | 学習指導要 領の内容 | A(4)ア(ア)(イ)(ウ) (エ), イ(ア)(イ) |

| | | |
|--------------------|-------------------|--|
| 単元の目標 | | 除法の意味について理解し、乗法九九1回適用の除法計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、除法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 除法が用いられる場合や除法と乗法などとの関係について知り、除法の意味について理解するとともに、除法計算をすることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 数量の関係に着目し、等分除と包含除を除法として統合してとらえるとともに、具体物や図、式を用いて計算の仕方を考え表現している。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 除法の意味や計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|-----------|------|-------|---------------|--------|
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の ページ | 上 p.47 |
| 配当時数 | — | 活動時期 | 5 月中旬 | 学習指導要 領の内容 | — |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|-------------------------|--------------------|------------------------------------|
| — | ・既習内容の理解を確認する。 上p.47 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | [知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】 |

| | | | | | |
|------|---------------------------------|------|-----------------|---------------|--------------------------------|
| 単元名 | 4. 大きい数の筆算を考えよう [たし算とひき算の筆算] | | | 教科書の ページ | 上 p.48～57, 146 |
| 配当時数 | 8 時間 | 活動時期 | 5 月下旬～ 6 月上旬 | 学習指導要 領の内容 | A(2)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(2) |

| | | |
|--------------------|-------------------|--|
| 単元の目標 | | 3～4 位数の加減法の筆算の仕方を理解しその技能を身につけ、既習の数の構成や筆算の仕方を活用して筆算の仕方を考える力を養うとともに、筆算の仕方をまとめた過程を振り返り、既習と統合的にとらえようとしていたり今後の生活や学習に活用しようとしていたりする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 3～4 位数の加減法の筆算は、2 位数などの基本的な加減法の筆算の仕方を基に考えればよいことを理解し、それらの計算をすることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 数の構成に着目し、2～3 位数の加減法の筆算の仕方を活用して 3～4 位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現し、筆算の仕方を一般化してまとめている。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 3～4 位数の加減法の筆算の仕方を、既習の筆算の仕方や、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|---------------------|------|-------|---------------|-----------|
| 単元名 | 考える力をのばそう「重なりに注目して」 | | | 教科書の ページ | 上 p.58～59 |
| 配当時数 | 1 時間 | 活動時期 | 6 月上旬 | 学習指導要 領の内容 | A(2)(7) |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|--|--|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 2 つの量の重なる部分に着目する問題を通して、数量の関係を図に表し考える能力を伸ばす。 <p style="text-align: right;">上p.58～59</p> | <ol style="list-style-type: none"> ①題意をとらえる。 ②テープ図の()にあてはまる数字を書いて図を完成させる。 ③図を見て様々な立式をし、答えの求め方を考える。 ④求め方を発表し、検討する。 ⑤2 つの量の重なる部分を求める問題を解く。 | <p>[思判表]線分図を活用して2 つの量の重なる部分に着目し、答えの求め方を考え、説明している。</p> <p>【観察・ノート】</p> <p>[態度]数量の関係を線分図に表し、問題を解決したことを振り返り、価値づけている。【観察・ノート】</p> |

| | | | | |
|------|---------------------------------------|------|-------------|-------------------|
| 単元名 | 5. 長い長さをはかって表そう [長いものの長さのはかり方と表し方] | | 教科書の ページ | 上 p.60～69 |
| 配当時数 | 7時間 | 活動時期 | 6月中旬～下旬 | 学習指導要 領の内容 |
| | | | | C(1)ア(ア)(イ), イ(ア) |

| | | |
|--------------------|---------------|--|
| 単元の目標 | | 量の単位や測定について理解し適切に単位を用いて長さを表したり、およその見当をつけ計器を適切に選択して測定したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して既習の単位を含めた単位の関係を統合的に考える力を養い、身の回りのものの長さを測定した過程を振り返り、量感覚を身につけ、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 長さの単位(キロメートル(km))や測定の意味を理解し、長さについての豊かな感覚をもつとともに、それらを活用して適切に長さを単位で表したりおよその見当をつけ適切な単位や計器を選択して測定したりすることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 身の回りのものの長さや長さの単位に着目し、長さの測定の方法や単位の関係について説明している。 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 長さについての単位や計器を用いて身の回りのものの長さをはかったり、既習の単位との関係について考えたりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | |
|------|------------------------|------|-------------|---|
| 単元名 | 6. 数をよく見て暗算で計算しよう [暗算] | | 教科書の ページ | 上 p.70~73 |
| 配当時数 | 3 時間 | 活動時期 | 6 月下旬 | 学習指導要 領の内容 A(2)ア(イ), イ(ア) 内容の取扱い(2) |

| | | |
|--------------------|-------------------|--|
| 単元の目標 | | 2 位数どうしの加減法の暗算について理解し、計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して暗算による計算の仕方を考える力を養い、暗算のよさを振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 被減数が 100 の減法の暗算や 2 位数どうしの加減法を暗算で計算することができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 数の構成や加減法に関して成り立つ性質に着目して、暗算による計算の仕方を工夫して考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 2 位数どうしの加減法を暗算で計算したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|-------------------------|------|-------------|---------------|--------------------------------|
| 単元名 | 7. わり算を考えよう [あまりのあるわり算] | | | 教科書の ページ | 上 p.74~83, 146 |
| 配当時数 | 7 時間 | 活動時期 | 7月上旬~中 旬 | 学習指導要 領の内容 | A(4)ア(ア)(イ)(ウ) (エ), イ(ア)(イ) |

| | | |
|--------------------|-------------------|---|
| 単元の目標 | | わり切れない場合の除法や余りについて理解し、計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、除法の意味や計算の仕方を具体物や図、式を用いて表す力を養うとともに、問題場面における数量の関係に着目し、数理的に処理した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | わり切れない場合の除法の計算や余りと除数の大小関係について理解し、それらを活用して数量の関係をとらえることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 数量の関係に着目し、わり切れる場合とわり切れない場合の除法を統合してとらえ、除法の意味や計算に成り立つ性質について考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 日常生活の問題を解決した過程や得られた結果を吟味したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | |
|------|------------------------------------|------|--------------|---|
| 単元名 | 8. 10000 より大きい数を調べよう [大きい数のしくみ] | | 教科書の ページ | 上 p.84~97, 147 |
| 配当時数 | 10 時間 | 活動時期 | 9 月上旬～中 旬 | 学習指導要 領の内容 A(1)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(1) |

| | | |
|--------------------|-------------------|--|
| 単元の目標 | | 万の単位や1億までの整数について知り、十進位取り記数法や4桁区切りによる命数法（万進法）を基に、大きな数の読み方や計算の仕方を考えるとともに、整数の表し方について数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 万の単位や1億までの整数を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍、100倍、1000倍、1/10にした数や、数や式の相等、大小関係を等号や不等号を用いて表す方法を理解している。 |
| | 思考・判断・表現 | 数の構成や仕組みに着目し、万の単位を用いた数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的にとらえ、説明している。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 1億までの数の仕組みや表し方について、統合的にとらえた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|------|------------------|---------------|---|
| 単元名 | 9. 大きい数のかけ算のしかたを考えよう [かけ算の筆算(1)] | | | 教科書の ページ | 上 p.98～112, 147 |
| 配当時数 | 11 時間 | 活動時期 | 9 月下旬～ 10 月上旬 | 学習指導要 領の内容 | A(3)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(2)(4) |

| | | |
|--------------------|-------------------|---|
| 単元の目標 | | 2 位数や 3 位数に 1 位数をかける乗法の計算の仕方について理解し、確実に計算することや成り立つ性質について理解できるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、乗法の成り立つ性質を活用したり、計算を確かめたりしながら、計算した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 2～3 位数×1 位数の乗法の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3 位数×1 位数の筆算について考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 2～3 位数×1 位数の筆算の仕方について、乗法九九などの基本的な計算を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|-----------|------|--------|---------------|---------|
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の ページ | 上 p.113 |
| 配当時数 | — | 活動時期 | 10 月上旬 | 学習指導要 領の内容 | — |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|--------------------------|--------------------|------------------------------------|
| — | ・既習内容の理解を確認する。 上p.113 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 【知技】既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】 |

| | | | | | |
|------|---------------------------------------|------|--------|---------------|------------------------------------|
| 単元名 | 10. わり算や分数を考えよう [大きい数のわり算, 分数とわり算] | | | 教科書の ページ | 上 p.114~117 |
| 配当時数 | 4 時間 | 活動時期 | 10 月中旬 | 学習指導要 領の内容 | A(4)ア(オ), イ(ア)(イ) (6)ア(ア), イ(ア) |

| | | |
|--------------------|---------------|---|
| 単元の目標 | | 簡単な場合について、除数が 1 位数で商が 2 位数の除法の計算の仕方や分数と除法の関係について理解し、計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算方法や問題場面における分数の意味について考える力を養い、既習の計算方法や分数を除法としてみた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> 簡単な場合の 2 位数÷1 位数の計算の仕方について理解し、計算することができる。 分数で表される場面を適切にとらえ、除法を用いて答えを求めることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 簡単な場合の 2 位数÷1 位数の計算の仕方について、既習の計算の仕方や図などを用いて、数の構成に着目して考え、説明している。 等分することや分数の意味に着目して、分数で表されている場面について、除法を用いて計算することを考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> 簡単な場合の 2 位数÷1 位数の計算の仕方について、具体物や図、式を関連づけたり、既習の計算の仕方などを基に考えたりしながら、その過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 分数と除法の関係やもとの数と分数の関係を考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|--------------|------|--------|---------------|-------------|
| 単元名 | どんな計算になるのかな？ | | | 教科書の ページ | 上 p.118~119 |
| 配当時数 | 1 時間 | 活動時期 | 10 月中旬 | 学習指導要 領の内容 | A(2)(3)(4) |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|---|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 加減乗除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。 <p style="text-align: right;">上p.118~119</p> | <ul style="list-style-type: none"> ①問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。 ②絵を見て作問し、解決する。 | <p>【知技】 問題場面を理解し、適切に立式し計算することができる。【観察・ノート】</p> <p>【態度】 主体的に数学的活動に取り組み、既習内容を活用して、どんな式を用いて解決すればよいかを考えようとしている。【観察・ノート】</p> |

| | | | | | |
|------|---------------------|------|--------|-----------|-------------------------|
| 単元名 | 11. まるい形を調べよう [円と球] | | | 教科書のページ | 上 p.120～132 |
| 配当時数 | 8 時間 | 活動時期 | 10 月下旬 | 学習指導要領の内容 | B(1)ア(ウ), イ(ア)内容の取扱い(6) |

| | | |
|------------|---------------|---|
| 単元の目標 | | 円や球を構成する要素や性質について理解し、コンパスを用いた作図や長さをはかり取ったり移したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して構成の仕方や身の回りのものを円や球として考える力を養い、図形をかいたり確かめたりする活動を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとしている。 |
| 単元の観点別評価規準 | 知識・技能 | 円の中心や半径、直径について、円に関連して球の直径などを理解し、それらを活用してコンパスで円をかいたり、等しい長さをはかり取ったり移したりすることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 円や球を構成する要素に着目し、構成の仕方や身の回りのものに図形の性質がどのように活用されているかについて考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 円や既習の図形の作図を基に模様をかくなどの活動を通して、身の回りから円や球を見つけたり、図形のもつ美しさに関心をもったりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|-----------------|------|---|-----------|---------|
| 単元名 | かたちであそぼう「タングラム」 | | | 教科書のページ | 上 p.134 |
| 配当時数 | — | 活動時期 | — | 学習指導要領の内容 | — |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|---|---|---|
| 一 | <ul style="list-style-type: none"> 基本図形を組み合わせていろいろな形を作る活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わう。 <p style="text-align: right;">上p.134</p> | <p>①正方形を7分割した基本図形を使って、他の基本図形やいろいろな具体物の形を作る。</p> <p>* デジタルコンテンツ設定有</p> | <p>【思判表】形の特徴に着目して、いろいろな図形を組み合わせた形の作り方を考え、表現している。</p> <p>【観察・ノート】 [態度]基本図形を工夫して組み合わせていろいろな形を作ろうとしている。【観察・ノート】</p> |

| | | | | | |
|------|-------------------------|------|-----------|-----------|-------------------|
| 単元名 | 12. 数の表し方やしくみを調べよう [小数] | | | 教科書のページ | 下 p.2~20 |
| 配当時数 | 12 時間 | 活動時期 | 11 月上旬～中旬 | 学習指導要領の内容 | A(5)ア(ア)(イ), イ(ア) |

| | | |
|------------|---------------|---|
| 単元の目標 | | 小数の意味や表し方について理解し，加法及び減法の計算ができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して小数の表し方や仕組み，計算の仕方を整数の十進構造と関連づけて考え，小数の意味や表し方について振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の観点別評価規準 | 知識・技能 | 端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや小数の仕組みについて理解し，それらを活用して1/10の位までの小数の加減法の計算をすることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 数の表現や数のまとまりに着目し，小数の記数法は整数の十進位取り記数法を拡張したものにとらえ，数の大小関係や加減法の計算について考え，説明している。 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 小数の意味や表し方，加減法の計算の仕方について，図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|-----------|------|--------|-----------|--------|
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書のページ | 下 p.21 |
| 配当時数 | — | 活動時期 | 11 月中旬 | 学習指導要領の内容 | — |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|-------------------------|--------------------|------------------------------------|
| — | ・既習内容の理解を確認する。 下p.21 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 【知技】既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】 |

| | | | | | |
|------|---------------------------------|------|---------------|---------------|--------------------------------|
| 単元名 | 13. 重さをはかって表そう [重さのたんいとはかり方] | | | 教科書の ページ | 下 p.22~34, 125 |
| 配当時数 | 9 時間 | 活動時期 | 11 月中旬～ 下旬 | 学習指導要 領の内容 | C(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(7) |

| | | |
|--------------------|-------------------|--|
| 単元の目標 | | 重さの単位と測定について理解し、適切に単位を用いて重さを表したり、およその見当をつけ計器を適切に選択して測定したりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して単位の関係を統合的に考える力を養い、重さの表し方について考えた過程を振り返り、量感覚を身につけ、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 重さについて、単位や単位の関係を理解し、およその見当をつけ、適切な計器を選んで測定することができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 身の回りのものの重さやその単位に着目し、量感覚を身につけたり、単位の関係を統合的に考え、説明したりしている。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 身の回りにあるものの重さやそれらを数値化することのよさ、普遍単位の必要性を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|-----------|------|--------|---------------|--------|
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の ページ | 下 p.35 |
| 配当時数 | — | 活動時期 | 11 月下旬 | 学習指導要 領の内容 | — |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|-------------------------|--------------------|------------------------------------|
| — | ・既習内容の理解を確認する。 下p.35 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | [知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】 |

| | | | | |
|------|--------------------------------|------|-----------|---|
| 単元名 | 14. 分数を使った大きさの表し方を調べよう [分数] | | 教科書のページ | 下 p.36～49, 126 |
| 配当時数 | 10 時間 | 活動時期 | 12 月上旬～中旬 | 学習指導要領の内容 A(6)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(5) |

| | | |
|--------------------|---------------|---|
| 単元の目標 | | 分数の意味や分数を用いた大きさの表し方を理解し、分数の加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して分数での端数の表し方や小数との関係を考える力を養い、分数の仕組みを用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 端数部分を表す数や大きさを表す数としての分数やその表し方を理解し、それらを活用して分数の加減法の計算や 1/10 の位までの小数と分母が 10 の分数の関係について理解している。 |
| | 思考・判断・表現 | 分数は基準量を任意に等分した単位分数のいくつ分かを表していることに着目して、数の大きさを図に表したり、計算したりする方法を考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 分数を用いることで、整数で表せない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表せるようになることを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|-------------------------------|------|-------|---------------|----------------|
| 単元名 | 15. □を使って場面を式に表そう [□を使った式] | | | 教科書の ページ | 下 p.50~57, 127 |
| 配当時数 | 4 時間 | 活動時期 | 1 月中旬 | 学習指導要 領の内容 | A(7)ア(ア), イ(ア) |

| | | |
|--------------------|-------------------|--|
| 単元の目標 | | 未知の数量を表す□を用いて数量の関係を式に表すことについて理解し、数量の関係を式に表したり、□に数をあてはまる数を調べられるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数量の関係を簡潔に表したり、式の意味を読み取ったりする力を養い、数量の関係を表す式を考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 数量の関係を表す式に未知の数量を表す□を用いることを理解し、それらを活用して問題場面を式や図に表したり、式の意味を読み取って問題場面を考え、□にあてはまる数の調べ方を理解したりしている。 |
| | 思考・判断・表現 | 数量の関係や問題場面に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて読み取ったりすることを通して未知の数量を表す□を用いた式について考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 未知の数量を□を用いて表すことで、問題場面を式や図に表せることよさを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|--------------------------------|------|-----------------|---------------|--------------------------------------|
| 単元名 | 16. かけ算の筆算を考えよう [かけ算の筆算(2)] | | | 教科書の ページ | 下 p.58~68, 128 |
| 配当時数 | 10 時間 | 活動時期 | 1 月中旬～ 2 月上旬 | 学習指導要 領の内容 | A(3)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(2) |

| | | |
|--------------------|-------------------|---|
| 単元の目標 | | 2～3 位数に 2 位数をかける乗法の計算について理解し、その計算が確実にできるようにし、乗法について成り立つきまりについて理解することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、計算した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 2～3 位数×1 位数の乗法の筆算の仕方を活用して、2～3 位数×2 位数の乗法を筆算で計算することができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 数の構成や乗法について成り立つきまり、既習の 2～3 位数×1 位数の筆算の仕方に着目し、2～3 位数×2 位数の筆算の仕方について考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 2～3 位数×2 位数の筆算について、既習の計算方法を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|-----------|------|-------|---------------|--------|
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の ページ | 下 p.69 |
| 配当時数 | — | 活動時期 | 2 月上旬 | 学習指導要 領の内容 | — |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|-------------------------|--------------------|------------------------------------|
| — | ・既習内容の理解を確認する。 下p.69 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | [知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】 |

| | | | | | |
|------|------|------|-------|-----------|------------|
| 単元名 | 倍の計算 | | | 教科書のページ | 下 p.70～73 |
| 配当時数 | 3 時間 | 活動時期 | 2 月中旬 | 学習指導要領の内容 | A(3)(4)(7) |

| | | |
|--------------------|---------------|---|
| 単元の目標 | | 数量の関係や倍の意味について理解し、比較量や基準量、割合を求められるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して倍の意味を図や式を用いて考える力を養い、二つの数量の関係を考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 数量の関係や倍の意味を理解し、問題場面に応じてテープ図や□を使った式などを用いながら、答えを求めることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 問題場面や数量の関係に着目し、倍の意味や計算方法について考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | 問題場面や数量の関係、倍の意味について考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|----------------------|------|-----------------|---------------|--------------------------------|
| 単元名 | 17. 三角形を調べよう [三角形と角] | | | 教科書の ページ | 下 p.74～89 |
| 配当時数 | 8 時間 | 活動時期 | 2 月下旬～ 3 月上旬 | 学習指導要 領の内容 | B(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(6) |

| | | |
|--------------------|-------------------|---|
| 単元の目標 | | 円を用いた作図を通して二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて理解し、図形の特徴をとらえることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形を構成する要素や構成の仕方を考える力を養い、辺の長さや角の大きさに着目し、図形を考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて知り、それらを活用してそれぞれの図形の意味や性質、作図の方法を理解している。 |
| | 思考・判断・表現 | 図形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形の性質を考えるとともに、それらの作図の仕方について考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | 辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、身の回りのものの形を図形としてとらえたことを振り返り、図形の敷き詰めなどの活動によって模様的美しさや平面の広がりを感じ、今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | |
|------|--------------------------------|------|--------------|---|
| 単元名 | 18. わかりやすく整理して表そう [ぼうグラフと表] | | 教科書の ページ | 下 p.90～104 |
| 配当時数 | 10 時間 | 活動時期 | 3 月上旬～中 旬 | 学習指導要 領の内容 D(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(8) |

| | | |
|--------------------|-------------------|---|
| 単元の目標 | | 日常の事象について、観点別にデータを分類整理することについて理解し、表や棒グラフに表したり読み取ったりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して表やグラフから見出したことを考察する力を養い、データを整理し考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | 日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | 目的に応じてデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に 取り組む態度 | データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事情について考察したりした過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|------|------|-------|-----------|-------------------|
| 単元名 | そろばん | | | 教科書のページ | 下 p.105～107 |
| 配当時数 | 2 時間 | 活動時期 | 3 月中旬 | 学習指導要領の内容 | A(8)ア(ア)(イ), イ(ア) |

| | | |
|--------------------|---------------|--|
| 単元の目標 | | そろばんによる数の表し方について理解しそろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して大きな数や小数の仕組みを考える力を養うとともに、計算の過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の 観点別 評価規準 | 知識・技能 | そろばんを用いた加減計算の仕方を理解し、それらを活用して簡単な加減計算をすることができる。 |
| | 思考・判断・表現 | そろばんの仕組みや十進位取り記数法の仕組みに着目し、数の入れ方や払い方を考え、説明している。 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | そろばんの仕組みと十進数の仕組みを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| | | | | | |
|------|---------------------|------|-------|-----------|-------------|
| 単元名 | 考える力をのばそう「間の数に注目して」 | | | 教科書のページ | 下 p.108～109 |
| 配当時数 | 1 時間 | 活動時期 | 3 月中旬 | 学習指導要領の内容 | A(3)(7) |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|---|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 直線や円周上に等間隔に配置されたものの数と間の数との関係に着目して、図を用いて問題内容を整理し、考察する力を伸ばす。 下p.108～109 | ①場面をとらえ、解決の仕方を考える。 ②図を見て、間の数が木の数より 1 小さいことに気づき、答えを求める。 ③場面をとらえ、解決の仕方を考える。 ④図を見て立式し、間の数と木の数が等しいことに気づき、答えを求める。 | [知技]図や式を用いて、直線上に配置された場合と円周上に配置された場合の違いを理解している。 【観察・ノート】 [思判表]対応の考えに着目して、直線上に等間隔に配置された場合について、間の数とものの数の関係を考え、説明している。 【観察・ノート】 |

| | | | | | |
|------|-----------|------|-------|-----------|-------------|
| 単元名 | 3 年のふくしゅう | | | 教科書のページ | 下 p.110～114 |
| 配当時数 | 3 時間 | 活動時期 | 3 月中旬 | 学習指導要領の内容 | A～D |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|-------------|--|-----------|--|
| 1 ～ 3 | <ul style="list-style-type: none"> 既習内容の理解を確認する。 下p.110～114 | ①問題を解決する。 | [知技]既習内容について解決の仕方を理解し、問題を解決することができる。 【観察・ノート】 |

| | | | | | |
|------|------------------|------|---|-----------|---------|
| 単元名 | かたちであそぼう「pentミノ」 | | | 教科書のページ | 下 p.116 |
| 配当時数 | — | 活動時期 | — | 学習指導要領の内容 | — |

| 時 | 目標 | 学習活動 | 評価の観点と方法の例 |
|---|---|--|--|
| — | <ul style="list-style-type: none"> いくつかの図形を組み合わせて正方形や長方形を作る活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わう。 下p.116 | ①正方形を 5 つつながてできた 12 種類の形をいくつか選んで、正方形や長方形を作る。 * デジタルコンテンツ設定有 | [思判表]形の特徴に着目して、正方形や長方形の作り方を考え、表現している。 【観察・ノート】 [態度]主体的に数学的活動に取り組むとともに、図形を工夫して組み合わせて正方形や長方形を作ろうとしている。 【観察・ノート】 |